

上中教育のガイドライン

40年近くにわたり『礼の心』を礎にしてきている。この地域でこの規模だからこそできる「きめ細かく、一人ひとりが活躍できる教育」即ち、『上中ならではの教育』を追求したいと考えています。

『礼の心』には、「人としての生き方」の他に、現代的な課題である「人間関係を築く力」や「自然と共に生きる力」があると考えます。礼の心を追求させつつ、自己及び他者理解に基づくコミュニケーション能力の育成に努め、自分の力が発揮できる生徒を育てていきたいと考えています。また、将来を見据え、ICT教育の実践を進めて、生徒が生涯にわたって主体的に学べる基礎スキルを育てていきたいと思っています。

令和4年度 上志比中学校 スクールプラン

教育目標

求め 鍛え そして夢実現

めざす生徒像

『礼の心』を追求する生徒  
心身を鍛える生徒  
自分の力を発揮する生徒



三 気

- ☆ 見る気
- ☆ 聴く気
- ☆ やる気

～「三気」を  
奮い起こしてほしい  
という願いをこめて～

重点目標

“見る気・聴く気・やる気” 気力のある実践

■ 豊かな心を育てる

- ・『礼の心』により自己を見つめ、他者を認める相互理解の心を高めた

■ 確かな学力をつける

- ・「生きる力」を育むための基礎学力と対人スキル能力の習得

■ 健やかな身体を育てる

- ・心身ともに健康な生活習慣の形成と体力の向上を図りたい

■ 信頼される学校をつくる

- ・「上中ならではの教育」を進め、保護者や地域の願いを具現化する学校にしたい

幼・小・中の連携：地域の特性を活かした「上志比地区」ならではの教育課程の編成・教育活動の実践

具体的な取組

◎「礼の心」を通して自己を見つめ、人へ、物へ、生きていることへの感謝の心を育てる

- ・心のこもった校門での礼、無言清掃、無言給食、語勢のある挨拶や返事
- ④心を込めて校門での礼をしたと評価をする生徒が90%以上

○個性を伸ばし、自分の生き方を見つける

- ・道徳の授業の充実(本音で深める相互理解)
- ・自分と他者の意見の比較と再構築力の育成
- ・自治力の発揮 (生徒会活動 学校行事等)
- ・体験活動の重視 (PDCA サイクルの徹底)
- ・自分の個性を活かした将来の目標の設定
- ④自分の夢や目標に向かって努力したと評価をする生徒が80%以上

◎業務改善を進める

- ・PTA、学校行事の見直し
- ・計画的な年次休暇の消化

◎個に応じた、きめ細かな指導を推進する

- ・支援教員による気がかりな生徒への効果的なサポートと疑問点への素早い対応
- ・基礎学力の定着(HMT、さわやかコーナー活用)
- ・毎日15分以上の学級読書
- ④授業の内容がだいたいわかったと評価をする生徒が80%以上

○学習意欲を高めるための手立てを工夫する

- ・ICTを活用した生徒主体の学習活動の充実
- ・教員同士の学び合いによる指導力の向上(校内研修、現職教育、小中連携、中中連携)
- ・どんな意見も許される学級づくりと、自分の意見の構築に基づく活発な討論活動
- ・意見の深化を目指した協働による授業構成
- ④授業が楽しく、学習に集中して取り組んでいる生徒が85%以上

◎基礎体力の向上を図る

- ・意欲的に取り組む部活動の推進
- ・目標を定めた「5分間走」「さわやかマラソン」への意欲的な参加
- ④部活動や朝マラソンで基礎体力がついたと評価をする生徒が80%以上

○健康な生活の習慣化を図る

- ・規則正しい生活リズムの徹底
- ・情報モラル研修の継続と充実
- ・家庭との連携による上中版スマートルールの検証と定着
- ・目、歯、腰立の健康指導の定着
- ④メディアや通信機器で生活のリズムが乱れていないと評価をする生徒が80%以上

◎学校を保護者・地域に開いていく

- ・ホームページを充実させ、授業や行事、諸活動の様子をこまめに情報として発信
- ・学校開放日の設定
- ・地域の人材活用
- ・地域での活動(部活動・ボランティア等)
- ④学校の情報を月1回以上は発信したと評価をする教職員が100%

○保護者と緊密に連携する

- ・保護者への正確で素早い連絡と相談
- ・ノーマディア週間の実施
- ④「学校は信頼できる」と評価をする保護者が85%以上

○いじめについて緊張感をもって生徒と接する

- ・生活ノートやアンケートによる確実な生徒の状況把握
- ④いじめに的確に対処したと評価をする教職員が100%